

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業415社を対象に実施し、319社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成23年7月～9月の実績、平成23年10月～12月の見込み、平成24年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成23年9月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	195	154	79.0%
非 製 造 業	220	165	75.0%
計	415	319	76.9%

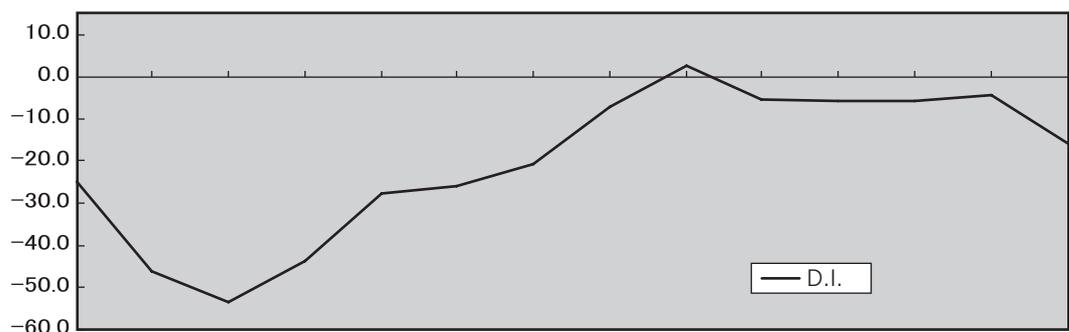
日銀が11月10日に公表した、北陸の金融経済月報（2011年11月）によると、「北陸の景気は、一部に厳しさもみられるが、全体としては持ち直しの動きが続いている。最終需要をみると、個人消費は消費マインドが幾分改善するもとの、全体としては下げ止まっている。住宅投資は新設住宅着工戸数が前年を上回っている。設備投資は穏やかに持ち直している。公共投資は減少している。輸出は好調を維持している。

先行きについては、当面、海外経済の減速や円高の影響を受けるものの、海外経済が新興国を中心になお高めの成長を維持するとみられることから、穏やかな回復経路に復していくとみられる。ただし、海外経済については不確実性が高く、為替・金融資本市場の変動が与える影響にも引き続き注意を要する。」としている。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）														見込	予測
	20年				21年				22年				23年		24年	
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
良 い	9.4	4.4	3.4	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	12.6	7.6		
普 通	56.3	44.7	39.8	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	70.3	68.8		
悪 い	34.4	50.9	56.8	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	17.0	23.6		
D . I .	-25.0	-46.5	-53.4	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-4.4	-15.9		

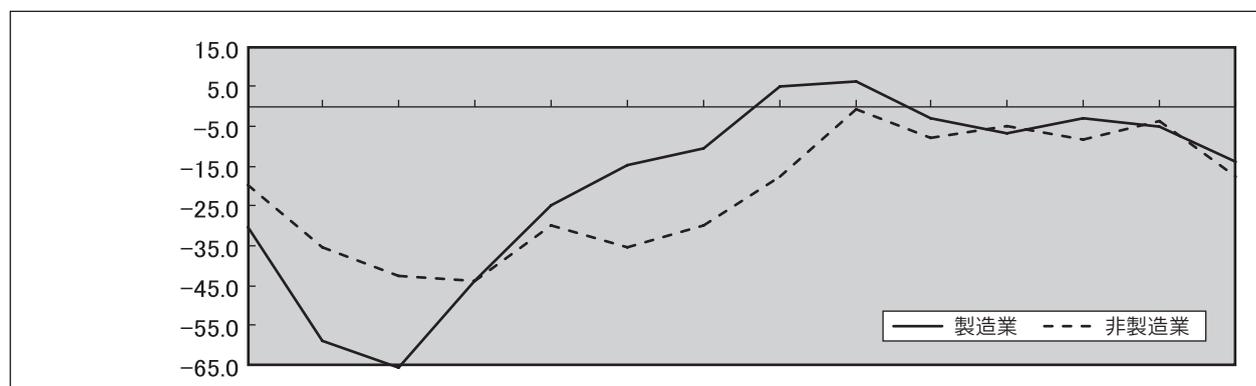


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）													
		見込		予測											
20年	21年	22年				23年				24年					
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
良	い	8.4	2.6	0.7	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	12.5	9.3
普	通	52.6	35.5	33.1	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	69.7	67.5
悪	い	39.0	61.9	66.2	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	17.8	23.2
D . I .		-30.5	-59.4	-65.6	-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	-5.3	-13.9

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）													
		見込		予測											
20年	21年	22年				23年				24年					
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
良	い	10.2	6.0	5.8	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	12.7	6.1
普	通	59.6	52.5	45.7	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	70.9	69.9
悪	い	30.1	41.5	48.6	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	16.4	23.9
D . I .		-19.9	-35.5	-42.8	-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-3.6	-17.8



- こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の23年7～9月期実績は▲6.0と前期比0.2ポイント悪化した。先行きについて、23年10～12月期のD.I.は▲4.4とやや改善見込であるが、24年1～3月期予想は▲15.9と悪化予想となっている。
- 業況判断指数D.I.の23年7～9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より3.6ポイント改善、非製造業は前期より3.4ポイント悪化となった。先行きについて、製造業、非製造業とも24年1～3月期は悪化予想となっている。各業種とも約10ポイント悪化ポイントが増えている。

## II. 売上高状況

売上高状況

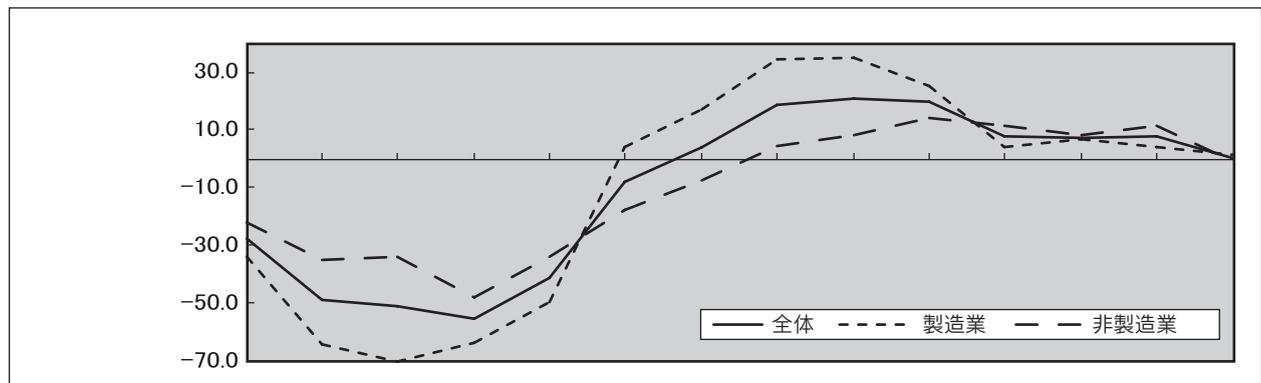
		(%)														見込	予測	
種別	期別	20年				21年				22年				23年				24年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		18.5	11.8	12.7	10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	27.0	16.0			
横ばい		35.4	28.0	24.1	24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	53.9	68.0			
減少		46.1	60.2	63.2	65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	19.1	15.9			
D. I.		-27.6	-48.4	-50.5	-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	7.8	0.0			

売上高状況 (うち製造業のみ)

		(%)														見込	予測	
種別	期別	20年				21年				22年				23年				24年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		17.1	7.8	7.4	7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	25.0	15.8			
横ばい		32.2	20.6	15.4	20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	53.9	69.7			
減少		50.7	71.6	77.2	71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	21.1	14.4			
D. I.		-33.6	-63.9	-69.8	-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	3.9	1.3			

売上高状況 (うち非製造業のみ)

		(%)														見込	予測	
種別	期別	20年				21年				22年				23年				24年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		19.8	15.2	17.2	11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	28.7	16.2			
横ばい		38.3	34.2	31.6	28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	53.9	66.5			
減少		41.9	50.5	51.1	59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	17.4	17.4			
D. I.		-22.2	-35.3	-33.9	-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	11.4	-1.2			



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は7.5となり、前期より0.5ポイント悪化との回答であった。先行きについては、23年10~12月期は7.8と今期より0.3ポイント改善であるが、24年1~3月期は0.0と7.8ポイント悪化の予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比2.7ポイント改善、非製造業は3.2ポイント悪化となり、非製造業は連続の悪化となった。先行きについて、製造業は悪化予想となっており、非製造業は10~12月は改善するが24年1~3月期に再び悪化予想の回答であった。

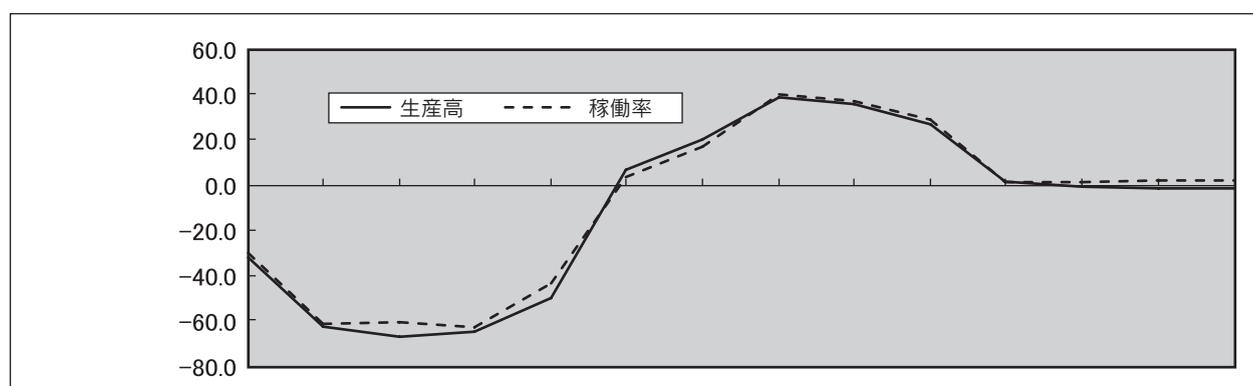
### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

期別 種別	（%）														見込	予測			
	20年					21年					22年				23年				24年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	24年				
20%以上増加	1.9	1.3	0.7	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	4.7	4.0					
20%未満増加	14.6	5.9	5.2	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	16.8	11.4					
横ばい状況	34.8	22.9	21.6	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	55.0	67.1					
20%未満減少	35.4	33.3	32.7	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	19.5	14.1					
20%以上減少	13.3	36.6	39.9	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	4.0	3.4					
D . I .	-32.3	-62.7	-66.7	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	-2.0	-2.0					

稼働率（製造業のみ）

期別 種別	（%）														見込	予測			
	20年					21年					22年				23年				24年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	24年				
上昇	1.9	0.7	0.7	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	3.5	3.4					
やや上昇	13.5	5.4	6.6	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	19.4	17.2					
横ばい	39.1	26.2	25.0	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	56.3	60.7					
やや下降	30.1	30.2	22.4	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	17.4	15.2					
下降	15.4	37.6	45.4	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.5	3.4					
D . I .	-30.1	-61.7	-60.5	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	2.1	2.1					

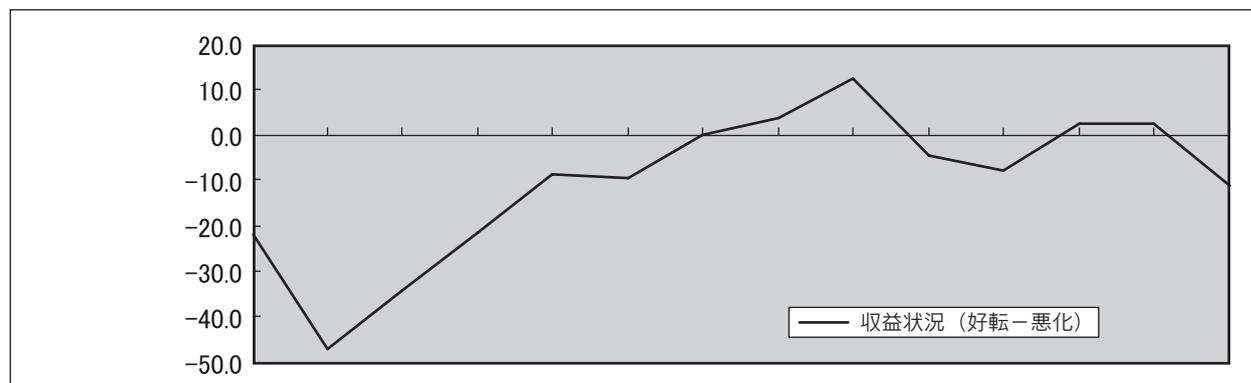


- 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲0.7となり、前期比やや悪化となった。先行きについても、悪化予想でありマイナスポイントとなった。製造業は業況も先行き悪化予想となっている。
- 稼働率状況D.I.は、前期比改善したが、前期同様低いポイントである。先行きについては、改善予想となっており、生産高と反対の回答となっている。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

種別	期別														(%)	見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
好転	12.7	5.6	11.1	13.5	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	17.9	9.4			
横ばい	52.8	41.9	43.5	51.4	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	66.8	70.1			
悪化	34.5	52.5	45.4	35.0	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	15.4	20.4			
D.I.	-21.7	-46.9	-34.3	-21.5	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	2.5	-11.0			



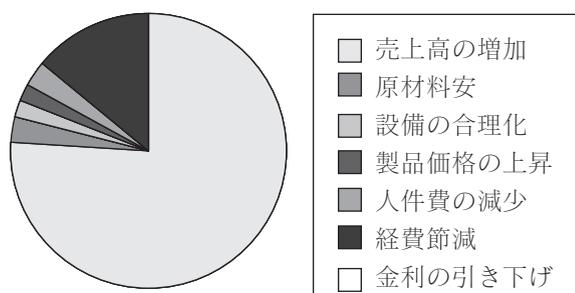
好転理由

種別	期別														(%)	見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
売上高の増加	64.3	52.5	49.2	63.9	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.7	61.4			
原材料安	14.3	12.5	6.6	8.2	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	1.3	4.5			
設備の合理化	1.8	5.0	6.6	1.6	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	3.9	2.3			
製品価格の上昇	5.4	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	6.6	13.6			
人件費の減少	1.8	12.5	18.0	11.5	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	1.3	2.3			
経費節減	12.5	17.5	6.4	14.8	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	13.2	15.9			
金利の引き下げ	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

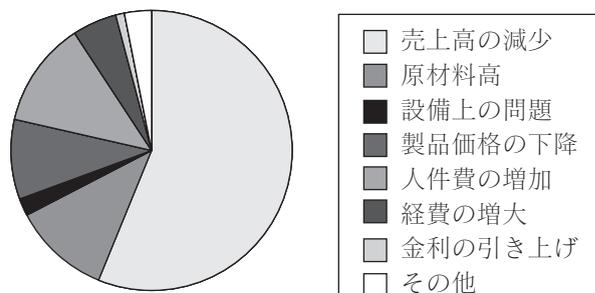
悪化理由

種別	期別														(%)	見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
売上高の減少	60.6	68.6	64.9	62.7	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	57.0	59.1			
原材料高	14.3	6.3	4.8	3.6	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	13.9	16.1			
設備上の問題	0.0	0.8	1.0	1.2	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.3	0.0			
製品価格の下降	11.4	12.5	18.3	16.6	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	6.3	5.4			
経費の増大	6.9	5.1	5.3	7.7	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	5.1	8.6			
人件費の増加	4.0	4.7	4.8	4.1	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	8.9	2.2			
金利の引き上げ	0.0	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	1.3	1.1			
その他	2.9	1.6	0.5	3.6	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.3	7.5			

好転理由



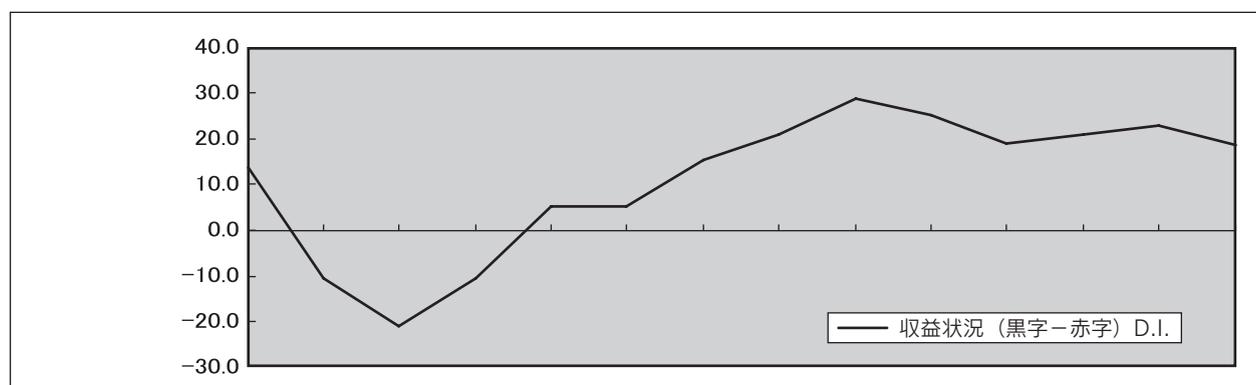
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比10.2ポイント改善した。先行きについては10～12月期は今期と同じとなっているが、24年1～3月期は悪化しマイナスポイントの予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが76.0と最も高く、前期比16ポイント増加している。次に「経費節減」があがっている。先行きについても、今期と同じ理由とするポイントが高いが、「製品価格の上昇」を理由とするポイントも高くなっている。
- (3) 収益が悪化した理由には、「売上高の減少」とするポイントが高く、次に「原材料高」「経費の増大」となった。好転理由と同じ項目であり、売上高と経費により収益は大きく左右される。先行きについても同様の項目を理由としているが、製品価格の変化もポイントとして高くなってきている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														(%)			
	20年				21年				22年				23年				見込	予測
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月				
黒字	36.6	25.0	19.0	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	38.9	36.5				
収支トントン	40.4	39.6	41.1	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	44.9	45.7				
償却後赤字	23.0	35.4	39.9	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.1	17.8				
D . I .	13.6	-10.4	-20.9	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	22.8	18.7				



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、前期比2.1ポイント改善し、20.9となった。先行きについても、10～12月期は改善予想となっているが、24年1～3月期はポイントは今期より低下の予想となった。24年1～3月期は、業況、売上高も悪化予想となっている。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

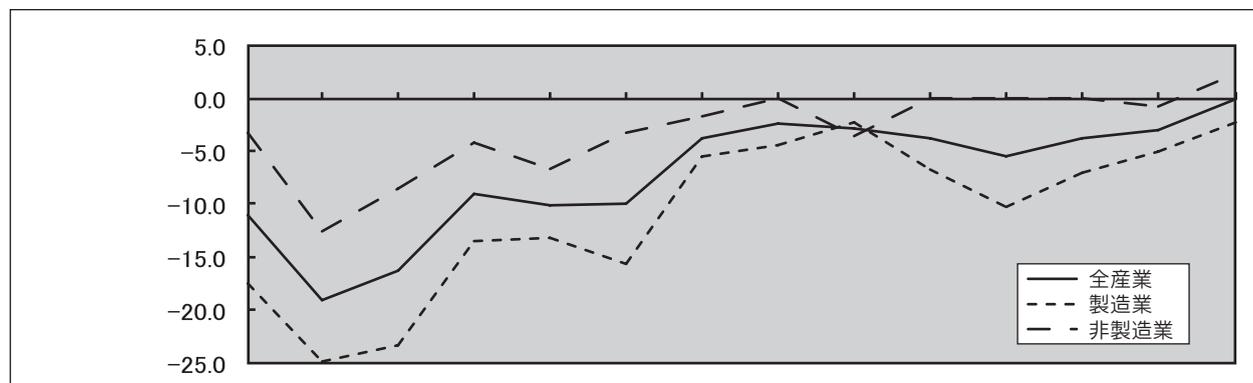
期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不足	1.5	1.5	2.2	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	3.4	3.8		
適正	86.0	78.0	79.2	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.2	92.4		
過剰	12.5	20.5	18.6	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	6.4	3.8		
D.I.	-11.1	-19.0	-16.4	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-3.0	0.0		

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不足	1.4	0.7	2.1	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	3.6	2.9		
適正	79.7	73.8	72.4	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	87.9	92.0		
過剰	18.9	25.5	25.5	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.6	5.1		
D.I.	-17.6	-24.8	-23.4	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-5.0	-2.2		

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不足	1.6	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	3.2	4.8		
適正	93.5	82.8	86.8	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	92.7	92.7		
過剰	4.9	14.8	10.9	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	4.0	2.4		
D.I.	-3.3	-12.5	-8.5	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-0.8	2.4		



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、23年7～9月期は前期比1.5ポイント改善となるがマイナスポイントであり、在庫過剰との回答が高くなっている。先行きについては、改善予想となっており、24年1～3月期には0ポイントの予想である。
- (2) 業種別では、製造業が過剰とのポイントが高く、非製造業は適正との回答である。先行きについては、製造業は改善傾向にはあるが、マイナスポイントであり、在庫過剰は解消には至っていない。非製造業は、適正から過剰、不足と每期変化する回答となっている。

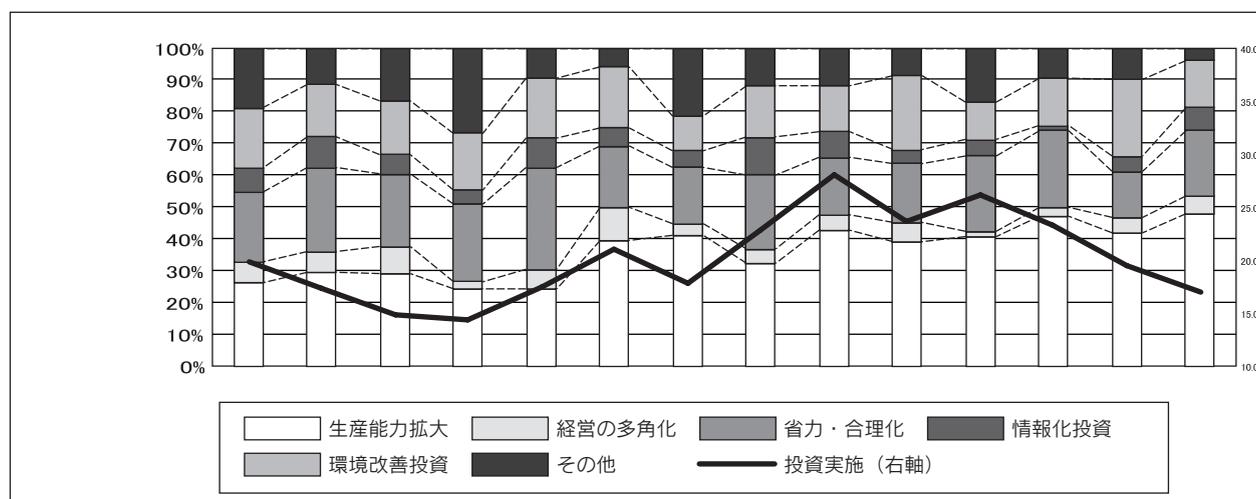
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
投資実施	19.8	17.3	14.8	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	19.4	16.9		
投資せず	80.2	82.7	85.2	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	80.6	83.1		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	26.6	29.5	29.2	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.9	48.1
経営の多角化	6.3	6.6	8.3	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.8	5.6
省力・合理化	21.9	26.2	22.9	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	14.5	20.4
情報化投資	7.8	9.8	6.3	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.8	7.4
環境改善投資	18.8	16.4	16.7	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	24.2	14.8
その他	18.8	11.5	16.7	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	9.7	3.7



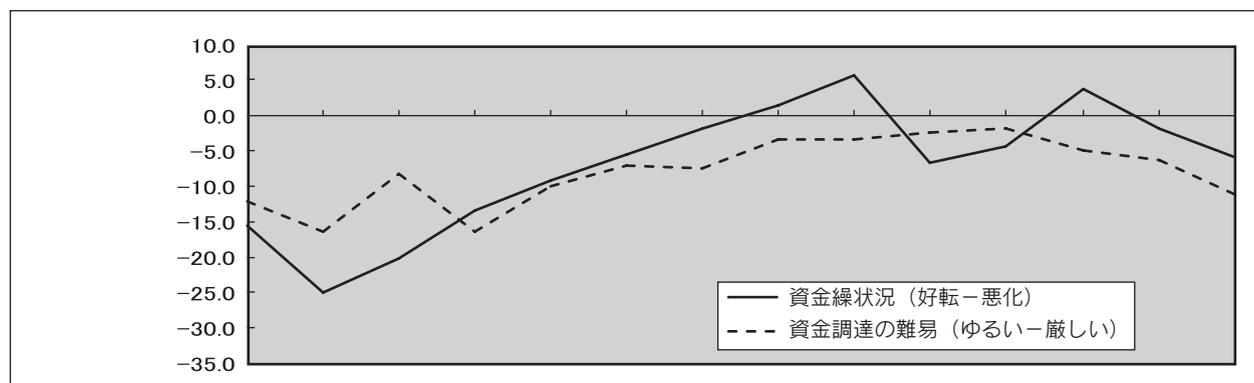
- 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の23.2%と、前期比2.9ポイント低下した。先行きについては、設備の実施は徐々に減少していく予想となっている。実施の目的別では、生産能力の拡大、省力・合理化、環境改善投資が高いポイントとなっている。先行きについても、今期と同じ目的のポイントが高い状況である。
- 業種別では、実施ポイントが高いのは「出版印刷紙加工」「木工建具」「プラスチック」「電子部品製造」であった。目的別では、生産販売能力拡大、省力・合理化とするポイントが高い。また、環境改善を目的とするポイントは「出版印刷紙加工」「医療福祉」で高いポイントとなっている。

## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	20年					21年					22年					23年					24年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
好転	4.4	5.0	6.2	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	7.5	4.7							
変わらず	75.5	65.0	67.3	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	83.2	84.6							
悪化	20.1	30.0	26.5	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	9.3	10.7							
D.I.	-15.7	-25.0	-20.4	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-1.9	-6.0							



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

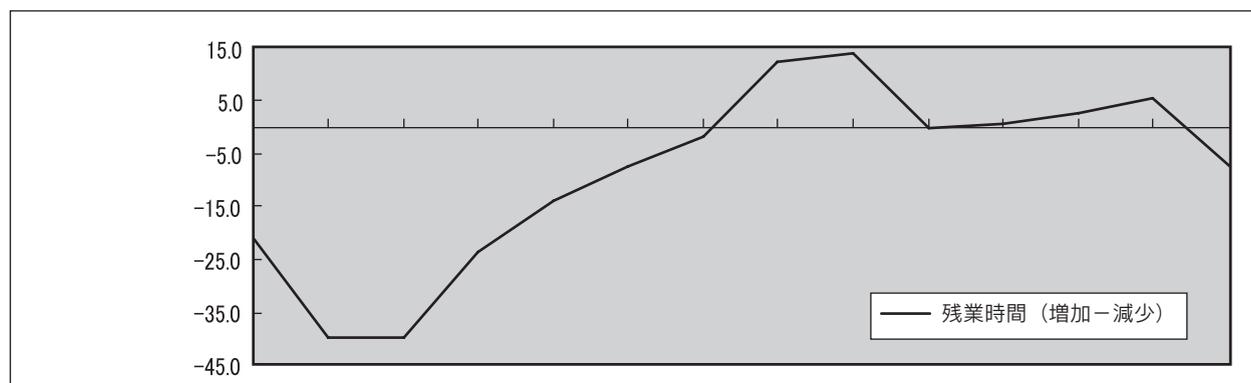
種別	20年					21年					22年					23年					24年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
ゆるい	5.9	4.4	5.9	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	9.8	8.3							
厳しくない	75.9	74.9	79.9	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.0	72.4							
厳しい	18.1	20.7	14.2	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	16.2	19.4							
D.I.	-12.2	-16.3	-8.3	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	-6.3	-11.1							

- 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、3.7と前期比改善しプラスポイントとなった。資金繰り状況は、22年10～12期以来3期ぶりにプラスポイントとなった。しかし、先行きについては悪化予想でありマイナスポイントとなっている。
- 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、前期より3.2ポイント悪化した。先行きについても、マイナスポイントであり、悪化予想となっている。業種別で製造業がゆるいとするポイントが高く、非製造業は厳しいとの回答となり、前期と同じ回答となった。先行きについては、製造業、非製造業ともマイナスポイントであり、厳しいの予想となっている。

## VIII. 労務事情

残業時間

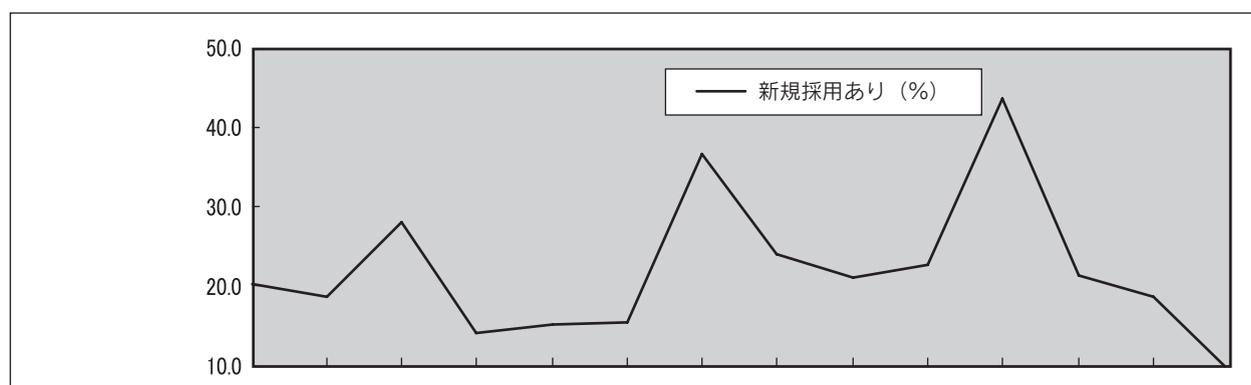
期別 種別	(%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
増加	10.0	6.5	4.3	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	14.3	7.9		
横ばい	58.5	47.4	51.6	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	76.9	76.7		
減少	31.6	46.1	44.1	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	8.8	15.4		
D.I.	-21.6	-39.6	-39.8	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	5.4	-7.5		



- (1) 残業時間D.I.は23年7~9月期2.4となり、前期比1.9ポイント増加した。残業時間は前期比増加としたとする企業のポイントが高くなった。先行きについては、10~12月期は増加予想となっているが、1~3月期は減少予想である。残業時間が増加との回答が高かった業種は、金属製品製造、アルミ製品、宿泊業となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

期別 種別	(%)														見込	予測
	20年	21年				22年				23年				24年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
全産業	20.1	18.6	28.1	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	18.5	9.4		
(うち製造業)	18.0	15.0	22.7	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	15.7	7.8		
(うち非製造業)	22.0	21.5	32.8	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	21.1	10.9		

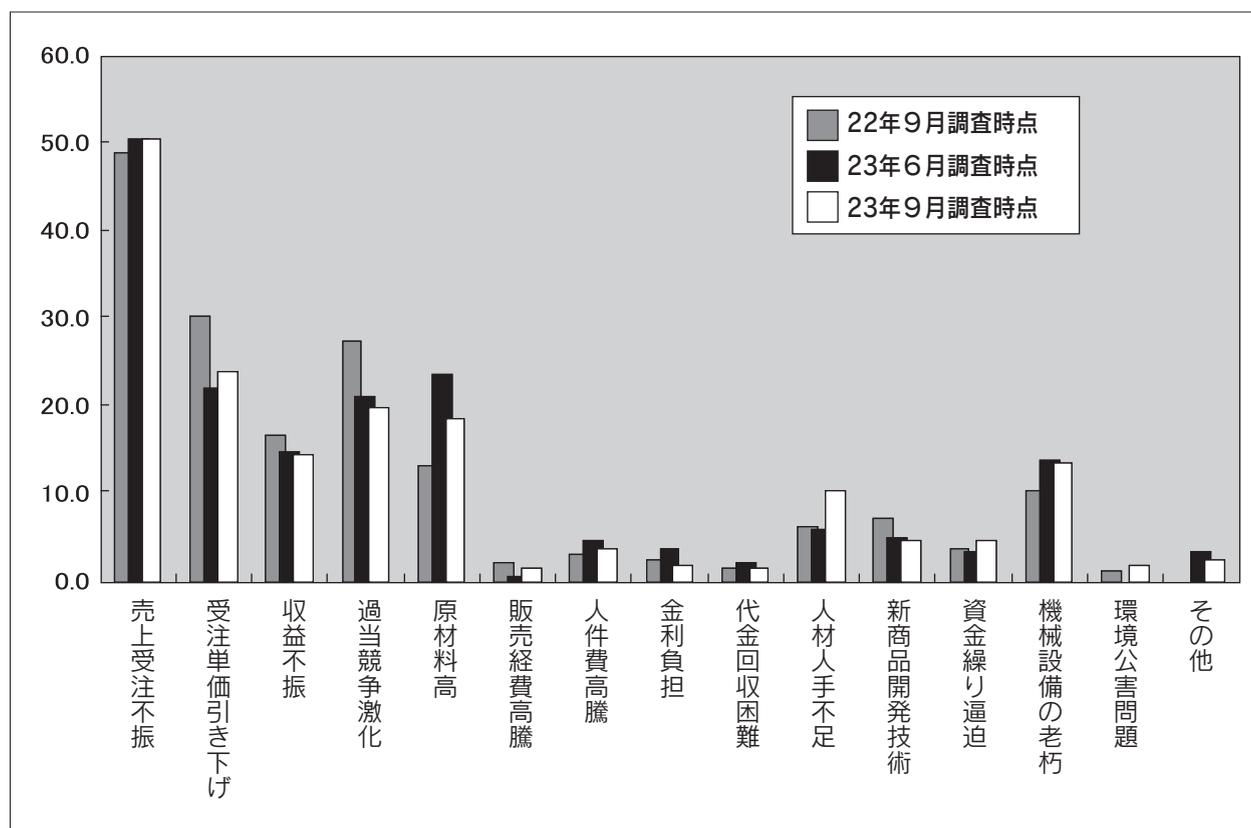


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の21.3%が新規採用を行っている。毎年、7~9月期は前期比減少となっている。今期は前年同期比2.8ポイント減少した。製造業では減少となっているが、非製造業では増加となった。

## IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	22年9月 (前回)	23年6月 (前回)	23年9月 (今回)	23年9月 (今回)		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	48.7	50.4	50.5	(51.0)	(52.6)	0.1
受注単価引き下げ	30.2	21.7	23.8	(25.9)	(20.5)	2.1
収益不振	16.4	14.6	14.4	(11.6)	(17.9)	-0.2
過当競争激化	27.2	20.8	19.7	(12.2)	(28.2)	-1.1
原材料高	13.1	23.5	18.5	(26.5)	(12.8)	-5.0
販売経費高騰	2.0	0.4	1.3	(0.7)	(1.9)	0.9
人件費高騰	3.0	4.4	3.4	(0.0)	(6.4)	-1.0
金利負担	2.3	3.5	1.6	(2.0)	(1.3)	-1.9
代金回収困難	1.3	1.8	1.3	(0.7)	(1.9)	-0.5
人材人手不足	6.0	5.8	10.0	(11.6)	(8.3)	4.2
新商品開発技術	7.0	4.9	4.4	(7.5)	(0.0)	-0.5
資金繰り逼迫	3.4	3.1	4.4	(4.1)	(4.5)	1.3
機械設備の老朽	10.1	13.7	13.2	(13.6)	(11.5)	-0.5
環境公害問題	1.0	0.0	1.6	(2.0)	(1.3)	1.6
その他	0.0	3.1	2.2	(3.4)	(1.3)	-0.9



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振50.5%(前期比+0.1ポイント)、②受注単価引下げ23.8%(前期比+2.1ポイント)、③過当競争激化19.7%(前期比▲1.1ポイント)の順になっている。
- (2) 前期より大きく変化したのは、原材料高前期比5ポイント減少、人材人手不足は前期比4.1ポイント増加している。
- (3) 売上受注不振でポイントの高い業種は、窯業土石、鋼材建材販売、宿泊業となっている。受注単価引下げでは、金属製品製造、建築業となった。

## X. 為替変動に対する影響

項 目		見込			予測 (%)	
		23年1～3月	23年4～6月	23年7～9月	23年10～12月	24年1～3月
売上高	好 転	1.1	0.5	0.7	0.7	0.7
	悪 化	4.0	5.0	7.6	8.7	7.3
	影響なし	94.9	94.5	91.7	90.6	92.0
仕入高	好 転	0.7	1.5	4.9	4.2	4.2
	悪 化	3.3	4.5	2.5	3.2	3.5
	影響なし	95.9	94.0	92.6	92.6	92.3
営業利益	好 転	0.7	1.5	3.2	2.5	2.5
	悪 化	5.5	7.1	6.7	7.4	7.1
	影響なし	93.8	91.4	90.1	90.1	90.4

- (1) 見込、予測については、前期比の予想について回答を求めた。今回290社からの回答があり、売上高については8.3%から影響があると回答があった。うち、7.6%の企業は売上高が悪化したとの回答であった。前期より悪化したとのポイントが2.6ポイント増加した。
- (2) 仕入高については、7.4%が影響ありと回答。うち2.5%が悪化したと回答であった。悪化より好転したとの回答ポイントが増加となった営業利益では、9.9%が影響があり、6.7%が悪化したと回答している。営業利益は、好転したより悪化したとの回答が多かった。
- (3) 先行きについては、売上高は影響あるとする回答がやや増加している。仕入高では、先行きも好転するとのポイントが高い。営業利益では、影響ありとする回答のうち、悪化とする回答が依然高いポイントととなっている。